

事務事業名	社会体育学校開放施設整備事業				会計	一般会計	実施区分	継続	
					事業種別	政策	開始	S36 終了	
H29作成課等名	生涯学習・スポーツ課	H29係等名	スポーツ施設係	H28担当課等名 生涯学習・スポーツ課					
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり						
	施策	26	スポーツの振興						
目的	対象(誰・何を)	学校開放体育施設				対象指標	指標名及び単位		28年度数値
	意図(どういう状態にするか)	安全で良好な環境で利用できるよう施設整備する。					学校開放施設(体育館・校庭・武道場)の数:(施設)		56
	向上させたい上位施策の成果指標	ウォーキングやスポーツを行っている市民(成人)の割合:(%)							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	不具合の発生による施設の休止日数			0	0	0	0	
	定性目標								
事業概要	学校の体育施設を、学校教育に支障がない範囲で、社会体育の利用のために市民に開放し、スポーツの振興を図る。そのための整備を行い、施設の充実を図る。								
28年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	社会体育学校開放施設修繕 1,022千円				改修、修繕及び新たな備品購入した学校体育施設(校庭、体育館)数		10施設(11件)		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		1,252	1,256	1,022	0				
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他									
一般財源		1,252	1,256	1,022					
人件費計(千円)②		1,341	1,341	1,341	0				
正規職員所要時間		375	375	375					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		2,593	2,597	2,363	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り	小規模な修繕への対応を行った。								
改革改善の考え方	①問題点	学校施設の開放による社会体育での利用は平日夜間が多く、照明が十分でない施設もいまだに多くある。老朽化による器具の破損・設備の不具合等(コートライン・防球ネット)も数多くある。							
	②改革提案	照明・器具・設備については、利用状況や実態を見ながら整備・改修の計画を立てていく。							